

東京帝國大學新聞

會長から新たに 經營規程案を提示

學生側委員は目下對策協議中

食糧問題近く解決か

西原利夫教授
工學博士に
本學に在學中の學生は、食糧問題に對して、大に苦悶を感ずる。會長は、この苦悶を緩和する爲め、新たに經營規程案を提示した。この案は、學生側委員の對策協議中である。

都市計畫や 水源調査のため

教授續々滿洲國へ！
本學の教授、續々滿洲國へ出張する。その理由は、都市計畫や水源調査のためである。

樺太に工場を設け ツンドラ板の製造

愈々年度から着手
本學は、樺太に工場を設け、ツンドラ板の製造を開始する。これは、愈々年度から着手する。

「就職率二割六分」 共済部紹介係で発表

四月から八月までの統計を
本學の就職率は、四月から八月までの統計で、二割六分である。これは、共済部紹介係で発表された。

行武科筆記 試験合格者

本學の行武科筆記試験合格者は、〇〇名である。

建國創業の 「満洲」をみて

學生視察團の報告
學生視察團は、建國創業の「満洲」を視察し、その報告を発表した。

光榮に輝く 恩賜の奨励金

本學關係三發明に
本學の學生は、光榮に輝く恩賜の奨励金を得た。これは、本學關係三發明に因るものである。

土木工學へ大吉報 政府の農村救済策が齎した

卒業生への一福音
土木工學の卒業生は、政府の農村救済策が齎した大吉報を喜ぶ。これは、卒業生への一福音である。

本部構内の偉觀 新法經控所

〇……十月中に竣工
本部構内の偉觀新法經控所は、十月中に竣工する。

講壇・第一陣！ 清野教授の金曜講演

來月七十四日四日
來月七十四日四日、清野教授の金曜講演が行われる。

山本美越乃教授 經濟學部長となる

山本美越乃教授は、經濟學部長となる。これは、山本教授の學問的業績と指導力によるものである。

近く着工する 耳鼻喉科各階の配置

耳鼻喉科各階の配置は、近く着工する。

學生便覽を配布 本年度新入學生に

本年度新入學生に、學生便覽を配布する。

CORONA Model S

對外的ノ新機！
小型機・大機・大機・大機
面々モ機能ハ
大機モ活用機一匹也

看護婦寄宿舎

新築にさる
看護婦寄宿舎は、新築にさる。

教務始まる

二十七日から
教務は、二十七日から始まる。

教務始まる

二十七日から
教務は、二十七日から始まる。

教務始まる

二十七日から
教務は、二十七日から始まる。

教務始まる

二十七日から
教務は、二十七日から始まる。

九月號 出來

九月號の雑誌が、今月出來た。

15 錢

雑誌の価格が、15 錢である。

武藏國久良郡石川 中村穴居記 (完)

武藏國久良郡石川中村穴居記の完結編が、今月出版される。

白井博士と樹木學

白井博士の樹木學に関する研究が、今月発表される。

似せ物語

似せ物語の続編が、今月出版される。

チエツコスロアキヤの旅

チエツコスロアキヤの旅の報告が、今月発表される。

沖繩の旅

沖繩の旅の報告が、今月発表される。

日本遠古の文化

日本遠古の文化に関する研究が、今月発表される。

外観と内容

雑誌の外観と内容が、今月発表される。

犯罪徴表説

犯罪徴表説の論文が、今月発表される。

自然法學と 法實證主義

自然法學と法實證主義の論文が、今月発表される。

刑法讀本

刑法讀本の論文が、今月発表される。

九ルゼンの純粹法學

九ルゼンの純粹法學の論文が、今月発表される。

民族的主義論

民族的主義論の論文が、今月発表される。

大畑書店

大畑書店の広告が、今月発表される。

大畑書店

大畑書店の広告が、今月発表される。

大畑書店

大畑書店の広告が、今月発表される。

大畑書店

大畑書店の広告が、今月発表される。

エミール・ルードウィヒ

に於ては、後にはヨロコブを喜ぶに足るものを得た。彼を呼ばれて Kuno Uehimura といふ。精神的ならした。"How I became a christian" の語句について、

新刊紹介

日常生活の生理学(加賀元一著)
 本書は「日常生活の生理」の題の
 にA・Kから十数回に亘つて放
 された演説を修正加筆して發
 したもので、日常生活に必要な
 理衛生を白癡近々の知識とも
 極めて平易に説明してゐる。

日本資本主義發達史講座（第二）農民生活の變遷、農村經濟の發展に對する教訓、重要な社會問題となつて各方面に重要視されてゐる時、最近の經濟狀勢及び農村有狀態の問題を取扱つた本は必讀すべき書讀であらう。小泉正氏、大家兼之助氏、外西氏、田筆してゐる。岩波書店。一冊。日本資本主義發達史講座（第三）本書は主として、幕末及び明治時代に於ける社會經濟の變遷を論じてゐる。岩波書店。一冊。一四〇頁。

[illegible]

で、最近の流行語たる「計費經濟」
非實現性を強調してゐる。稿文
一圓五十銭

田中幸一郎史學論文集（三田史
學部） 本書は故田中幸一郎氏
十周年記念として編刊されたも
六八五頁に亘る大著にして、
の官吏經濟法外二十數篇の論文
を収めてゐる。三田史學部發行

政治學部 東京市政調査會

ての公益企業法に就いての股
をなし、更に民法上の承継理由
を詳述して、東京市政調査會
國五十號

雜誌

五十五號▽優年奨十月號日本優
學賞、三十號▽セルバン(九
オリビウク結城、第一書房

久化學會、十五錢、新ロシア
九月台覽會、日本文化協會、三
錢、ドルメン(九月號)函書院
五錢、解前時代(九月號)正
ナリス、開票、二十五錢
學、九月號、岩波書店、三十五
國家試験(八月號)補習題書
洞、七十五錢、月刊社會(九月
同人誌、十錢、月刊雑誌(九
我學社、三十錢、プロレ

リヤ科へ七八月分は「新」プロ科
 院所 三十五號「ソグエー」ト
 關東九月號誌 當時編者日高
 約通信社、三十號「社會學徒」
 月號共計、二十五號「大」批
 九月號 其社、二十號「都」問
 九月號 東京市職教會、五十
 院所醫學「九」分「社」關西醫學
 二十號「學」本九月號其
 三十號「學」本九月號其

十五日發行此醫學界において
の治療法の大體を占めてゐる藥
療法が將來醫學の進歩につれて
出される新藥の實驗報告を分類
する事を目的としたものであ
る。床藥社、四十號

天野貞

[illegible]

で、最近の流行語たる「計費經濟」
非實現性を強調してゐる。稿文
一圓五十銭

田中幸一郎史學論文集（三田史
學部） 本書は故田中幸一郎氏
十周年記念として編刊されたも
六八五頁に亘る大著にして、
の官吏經濟法外二十數篇の論文
を収めてゐる。三田史學部發行

政治學部 東京市政調査會

ての公益企業法に就いての股
をなし、更に民法上の承継理由
を詳述して、東京市政調査會
國五十號

雜誌

五十五號▽優年奨十月號日本優
學賞、三千錢▽セムパン(九
オリシワタ結城紙、第一書房

文化協會、十五錢、新ロシア
九月台座、日本文化協會、三
錢、ドルメン(九月號)函書院
五錢、解前時代(九月號)正
ナリス、開票、二十五錢
學、九月號、岩波書店、三十五
國家試験(八月號)補習題書
洞、七十五錢、月刊社會(九月
同人誌、十錢、月刊雑誌、九
我學社、三十錢、プロレ

リヤ科へ七八月合算のブロー料
納税所 三十五錢 ツゴエト
關東九月歸郷 乗持銀五日滿
約通信料、三十錢 ツ社會學徒
月費其計、二十五錢 ツ夫、批
九月號 其社、二十錢 ツ都田問
九月號 東京市職給食費、五十
ツ國學院へ九十月號 關西醫學事
二十錢 ツ臺灣へ本九月號 其
三十錢 ツ床邊部へ創刊號併

十五日發行此醫學界において
の治療法の大體を占めてゐる藥
療法が將來醫學の進歩につれて
出される新藥の實驗報告を分類
する事を目的としたものであ
る。床藥社、四十號

を紹介す

伯千 伯千

の事ではない。とに角

を以て、現行刑法の適用に
關するに於けるこの領事裁判
の草案の指導理念としての
固有の尊嚴と、吾國

「非常時」待を裏原理由を
救ひ得シカも革
正義感
有事の指
憂國の
學界空
壯觀でも
往
經
新日本は
内閣制
經濟參
教育の
地方制
勞働統
負債統
蓄積及
銀行替
國營私
統制經
貿易
獨占體
農業振
農業統
農業協
米穀統
財政
計畫經
再版

米專賣の問題

[illegible]

田原百五十五の諸君は、いま轉死地に在る。
 江戸川の東山を去り、もて馬を解いて其の對岸を南へと渡らば、
 が何處までも、我田原郷には、通つた所が本邦一の無窮の
 寶庫である。云々云々と世に誇る。漁村の鹽の味を誦つてゐる
 的なきといふ時、時勢引續いて盛衰とあるとき、吾等萬事皆
 變の憂いありとて、其の轉死の時來るとは、本邦の特長であ

農村經濟の窮乏對策

立助經久 大谷政敬著 四六判上ノ 密印二五銭
 學友社發行

神戶博士に倣して「三民教義圖」なり。都田釋、東省の學問家、哲又國民主義、其の著の「三民教義圖」なり。一編讀めば、思へ、今や寧ろ無義にあるが如きものなるは何か、本教義は、何んとして是れが理論を本義に於て把握せしめ、しるが後、國民實踐に務め、しからば我々の窮乏に嘆、憂ふ、否な、國民の幸福は永遠に續くであろう。

文藝云遊王
 土岐善麿著 四六開本 1947年刊
 岩波書店 造價四拾

A大から小國に放散する新種植物の如く、各名を能なる者が、
 對し其地に於て之を栽培せしむる爲めに、オーストラリアに遷居し
 に對す。然れども其地を明瞭なくすれば、真に遊藝に文學の活動性を
 へるものなり。

吉澤博士　國語說鈴　市價八拾圓
 國語史概説　市價四十五圓
 染料　拾圓

新古今集の監査	川田 順著 四六四頁 定價銀五圓五錢 三九二頁 昭和十二年十二月	提出家書	短歌初學 定價銀五圓五錢 昭和十二年十二月	短歌論攷 定價銀十二圓 昭和十二年十二月	龍尾二臨山
---------	-------------------------------------	------	--------------------------	-------------------------	-------

著者の漢學は無類書を無類して本書の骨幹を始めて完成したのである。その感ずる所の必要説は、

廉取岳陽著 四六字類 中興年間成書 十二卷

漢詩入門

平岡仙庵をその父を以て漢詩の作法を説いて宛然。一語一語を考へて其の源流を尋ねて其の旨を究むるは其の爲めなり。其の爲めなり。其の爲めなり。

詩語集成

川田瑞穂編
六十六卷
昭和十三年四月

本書は其の獨得の編集と完全なる割圖により古今數年無類に及ぶ詩語を一日讀して味わくが、作意、文法の使用に於て最も適したものな。悉く例を附し、二字句、三字句外に三、四、五字句を併收し、發聲の便に例を附す。金澤市出版部編輯、大澤武子校對、日清を校正して翻作せるをせしむ。數て好學者、學者に供する。

京都河原町廣小路
立命館出版部
